

素朴な疑問： 圧縮工具の噛み付きはなぜ起きるの？

答え： 噛み付きとは、圧縮作業が終了しても、ラム部分が下に下がらない現象を言います。(写真1)
考えられる原因は、下記の通りです。

1. シリンダーの上がる方向により、噛み付きやすい向きと噛み付きにくい向きがあります。
外側に力が逃げる場合は、噛み付きやすい方向になります。(写真2)
本体側に力が逃げる場合は、噛み付きにくい方向となります。(写真3)
※シリンダーの上がる方向はコネクタの形状により、変化します。(力の逃げ方向による)
2. コネクタを適正にセットしていない。
3. シリンダー部分が摩耗し、擦り減っている。シリンダーが斜め(外側)に上がりやすい。
注)長く使用している工具が、噛み付きやすいのはシリンダーの摩耗が主な原因です。



写真1: 噛み付いた状態



シリンダーが外側に上がる



写真2: 噛み付きやすい方向



シリンダーが本体側に上がる

写真3: 噛み付きにくい方向

<噛み付き解除方法>

- ①電線を前後・上下、工具を左右・前後に強く揺する。
- ②コネクタ圧縮部近くの電線をプラスチックハンマー等で叩く。(写真4)

(注意事項)

- ・噛み付きを解除する際、ハンマー等で工具を傷つけないよう注意願います。
工具が破損したり、工具の寿命が縮まってしまう事があります。
- ・頻繁に噛み付きが発生する工具はメーカーに修理依頼をお願いいたします。



写真4: 解除している写真